

其ノ他細部ハ兩部隊長相互協定スルノトス

一、二、三、整備完成目途ハ左記ニ據ルノトス
完成目途 六月上旬 二機

整備基準

一、二、三、飛行隊訓練ハ左記ニ據リ實施スルノトス
訓練到達目標(六月末概成)

一、二、三、夜間海洋航法
五、二、三、先砲彈訓練使用配當
七、二、三、夜上通信

被教育者ハ伎倆優秀者六名(機上通信手ハ別ニ六名トス)ヲ選拔スルノトス

誠部隊參謀長 岸本重一

誠部隊第百八十三號

誠部隊命令

五月二十七日二〇〇

一、二、三、飛行隊訓練ハ左記ニ據リ實施スルノトス

一、二、三、整備完成目途ハ左記ニ據ルノトス

整備基準

一、二、三、飛行隊訓練ハ左記ニ據リ實施スルノトス
訓練到達目標(六月末概成)

一、二、三、夜間海洋航法
五、二、三、先砲彈訓練使用配當
七、二、三、夜上通信

被教育者ハ伎倆優秀者六名(機上通信手ハ別ニ六名トス)ヲ選拔スルノトス

誠部隊參謀長 岸本健兒

誠部隊參謀長指示

一 誠第十五飛行隊保管ノ飛行機全機並ニ關聯器材ノ全部ハ飛行隊百八戰隊ニ移管スルモノトシ飛行機ノ空輸並ニ器材輸送ハ受領部隊ニ於テ實施スルモノトス
二 本隊戰機修理廠ハ移管飛行機ノ普通裝備改修ニ關シ悉カニ處置スルモノトス

三 飛行機並ニ器材ノ受領完了セバ受領部隊ハ速カニ之ヲ見察テ報告スルモノトス

昭和二十年六月二日

誠部隊參謀長

山本重一

誠作命内第百十三號別紙

飛行第百八戰隊爆撃飛行隊編成要領

爆撃飛行隊ノ編成ハ左記ヲ考慮シテ實施スルモノトス

一 爆撃飛行隊編成後依リ現在ニ於テ戰隊本然ノ任務ヲ輸送飛行戰隊ノ能力ヲ著シク低下セシメサルモノトス

二 爆撃飛行隊ハ敢テ先ニ戰隊固有ノ人員ニ依リ九九双輕三機自明晴夜沖繩附近敵艦船若クハ敵航空基地攻撃ヲ可能トシテ爾後他部隊ヨリ轉屬スル人員器材ヲ以テ六月下旬迄ニ概シテ爆撃一中隊ノ能力發揮ヲ可能ナラシム

二人員

一 編成ニ應ジ飛行第百八戰隊ニ對シテ屬表ノ人員ヲ增加配屬(將校ヲ以テ)

二 空中勤務者ニ在テハ輸送中隊ノ爆撃飛行隊ノ編成上區分ニ相互融通セザルモノトス

三 兵器資材

爆撃飛行隊ニ充當スル飛行機ハ總テ誠作命内第百七十五號ニ據ルモノトシテ實地ニテハ其實施要領又飛行第百八戰隊ニ對シテ兵器資材增加要領ニ依リ

一 部隊の作戦ノ進展ニ即應シ臺飛作命内第九十七號
 二 百ヲス別紙ニ基キ屏東地區ニ於ケル航空燃料ノ集積
 三 第二野戦航空隊ノ輸給隊長ヲ配屬中ノ獨立自動車第三
 四 百中隊ノ自動貨車四ヲ第三十九航空地區隊長ノ指揮下ニ
 五 第三十九航空地區隊長ハ前項自動貨車ヲ併セ指揮シ
 六 第一項燃料ノ輸送ニ任ス
 七 下定法 電話部隊長
 八 配布区分 各一

誠部隊命令
 3828
 3081
 SFH
 9FB
 桃aB
 各一

山本健兒

特	操	機	電	計	武
業	縱	關	機	器	裝
機	種	九	九	双	輕
人	將士官	下士官	下士官	下士官	下士官
三	四	一	二	二	一
員	員	員	員	員	員

八列二示又
 誠作命内第九十二號別紙屬表
 爆撃飛行隊編成爲飛行隊百八隊隊員知照屬表
 誠部隊命令

五月二十九日一〇三〇
 北

誠命丙第百八十四號別紙

考 備	地 區							
	恒 春	佳 冬	樺 山	里 港	平 頂 山	小 港	潮 州	屏 東
一 脂 油 類 へ 揮 發 油 二 應 スル 量 ヲ 集 積 スル モ ト ス 二 列 車 輸 送 三 關 シテ ハ 誠 部 隊 司 令 部 ニ 於 テ 處 理 スル モ ト ス			五〇〇	五〇〇	四〇〇	五〇〇		一〇〇〇
	〇	〇					〇	
	(減) 揮發油 脂油	(減) 揮發油 脂油	移動セズ	(減) 揮發油 脂油	(減) 揮發油 脂油	(減) 揮發油 脂油	(減) 揮發油 脂油	(増) 揮發油 脂油
	全量	全量						
	足分トス	南港補給廠ニ 屏東地區内ニ於ケルモ トス	湖口ニ六月上旬迄	八塊	南港補給廠	龍潭	八塊	宜蘭(西)育荷完了 燃料ヲ以テ補填スルモ トス
								恒春飛行場ニ於ケル 燃料ヲ以テ補填スルモ トス
								移動量(本)
								集積要領

誠任命第百二十六號

誠部隊司令

六月一日一六〇北

一 部隊之戰況之急迫ニ伴ヒ器材戰力充實ヲ急速ニ促進セトス

兵器部長ハ速カニ航空本部ニ到リ關係機關ト連絡シ六月

分ニ部隊向補給機ヲ努メテ六月上旬末ヲ自途ニ部隊ニ到

着セシムル如ク空輸ノ促進ニ任スヘシ

右期間東京誠連絡所新田原誠連絡所及部隊所屬空中勤務者ヲ區處

ニ下リ得

誠部隊長 山本健兒

1790

下達法
航空区分

1011A 印
 202 本
 航 航
 航 航
 航 航
 航 航
 航 航
 17FR
 19FR
 20FR
 21FR
 29FR
 105FR
 誠 24FR
 24FR
 25FR
 JFR
 L
 8FR

谷一

誠作命丙第百十九號
誠部隊命令

六月四日一〇〇〇北

一飛行第二十九戰隊長誠作命丙第百七十九號及同第百八十號二基ヲ第三練成飛行隊差出シノ特別攻撃隊誘導機ヲ原所屬ニ復歸セシムシ
二第三練成飛行隊長八前項實施ニ伴ヒ飛行第十戰隊同第百八戰隊差出シノ偵察將校(航法下士官)ヲ各々原所屬ニ復歸セシムハシ

誠部隊長

山本健、寛

下達法
配布區分

電報(電話)後印刷交付
湾ニ
29FR
108FR
3FR
5FS 各一

誠作命丙第百九十五號

誠部隊命令

六月十三日 臺北

部隊新兵兵器研究委員會ヲ編成シ新

兵器實用化ヲ促進セントス

第五野戰航空修理廠長ハ新兵兵器研究

委員長トシ臺灣軍兵器部ト密ニ連

繫シ新兵兵器ノ研究試作實驗審査及製

作ヲ擔任スベシ

本研究期間第五野戰航空補給廠長ヲ

區處スヘシ

三第野戰航空補給廠長前項研究ニ關シ第

五野戰航空修理廠長區處ヲ受クヘシ

四獨立飛行第四九中隊長八第野戰航空

修理廠長行フ新兵器實驗審査ニ協力

部長ヲシテ指示セシム

誠部隊長 山本健兒

下達法
配付券

電話連絡後印刷交付
57A
37H
49PCS
38aB
61aC
97AB
227B
各一

誠作命丙第百九十二號ニ基キ參謀長指示

一委員長ハ第五野戰航空修理廠及第五野戰航空補給廠ノ所要人員並ニ臺北帝大ノ教授若干名ヲ以テ新兵器研究委員會ヲ編成スルモノトス

二新兵器研究ノ為兵器資材ノ提供ハ主トシテ第五野戰航空修理廠ニ於テ擔任スルモノトシ所要ニ應ジテ海軍兵器部ヨリ所要ノ援助ヲ受クルモノトス
三臺北帝大教授ト委員長ト連絡ハ臺灣軍兵器部及誠參謀部ニ於テ擔任スルモノトス

四研究内容ハ別紙ニ據ルモノトシ第一次研究兵器試作完了ハ六月末トシ爾後ノ研究九安實驗

國軍兵器研究所

昭和二十一年六月十三日

誠部隊參謀長 岸本重一

別紙

新兵器研究委員會研究內容

一 第一次研究

現有爆彈ヲ改修シテ行フ時限爆彈ノ研究

試作

但シ試作品ハ時限時間ハ概ネ二十四時間以
内トシ投下ノ際地下深ク埋没セシメサルト共ニ
爆發ノ確實性ヲ保持セシムルモノトス

二 第二次研究

第一次研究試作品ノ實用試驗及改修

三其ノ他ノ研究

第一次研究ノ成果並ニ目下臺北帝大ニテ研
究中ノ基礎研究終了後別ニ示ス

